

水と緑のまち みやしろ



宮代町は、埼玉県東部、都心から40km圏内に位置する、面積15.95km²、人口約3万3千人の町です。東武伊勢崎線が町を縦断し、駅が3つあるという好条件のもと、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、「日本工業大学」の開校や「東武動物公園」の開園などにより、文化都市としての面も持ち合わせてきました。一方で、まだまだ屋敷林や田んぼなどの自然が多く残されており、都市的な街並みと緑豊かな自然環境がバランス良く調和した町です。

建築物を楽しむ

1 宮代町庁舎

宮代町の庁舎は、平成17年に完成した全国でもあまり類を見ない木造建築の庁舎として、木の持ち味を活かしたぬくもりある空間となっています。庁舎の一角には市民活動サポートセンターが併設され、市民の活動と交流の拠点として利用されています。

市民活動サポートセンター
【開館】9:00~19:00
【休館】12月29日~1月3日
【施設概要】打合せコーナー、インターネットコーナー、情報公開コーナー、印刷コーナー
【TEL】0480-34-1163

2 コミュニティセンター 進修館

進修館は、町民が集い、創造する場として親しまれ、様々なコミュニティ活動の拠点となっています。「大ホール」など大小8つのスペースがあり、様々な活動に利用されています。象設計集団の設計によるそのユニークな外観から、町のランドマークとして広く親しまれています。

【開館】9:00~21:30
【休館】水曜日・年末年始
【使用料】1時間単位(有料)
※詳しくはお問い合わせください
【TEL】0480-33-3846

学ぶ

5 日本工業大学 工業技術博物館



【開館】9:30~16:30
【休館】日・祝日、8月中旬、年末年始
【入館料】無料 【TEL】0480-33-7545



日本工業大学のキャンパス内に開設された博物館。わが国産業の発展に貢献した機械・機器・資料等を技術史的に整理して保存・展示。展示工作機械の70%は動態保存であり、明治末期から昭和中期まで実稼働していた機械加工の町工場も復元。明治24年にイギリスで製造されたSLも動態保存されています。

6 町立図書館

様々な情報収集の場としての図書館は、本を借りるだけでなく、研修室、ホール(160人)、展示ホールなども備わっていて、毎週土曜日には児童向けの催し物を行っています。

MAP D-3

【開館】火~金曜日 10:00~19:00、土・日・祝 10:00~18:00
【休館】月曜日(祝日の場合は開館)・祝日直後の平日・年末年始・館内整理日
【TEL】0480-34-9944

みやしろ

3 笠原小学校

進修館と同じく、象設計集団の設計により昭和56年に完成した笠原小学校は、宮代町に古くからある切妻型瓦葺きの二階建て農村住宅を具したモチーフとし、「学校はまち」「教室はすまい」「学校は思い出」の三つのコンセプトをもとに造られた赤い外壁と瓦屋根のユニークな学校です。

MAP D-3

4 公衆トイレ 四季楽

進修館に隣接した公衆トイレ「四季楽」は、福祉や環境に配慮し建設されました。その先進性が評価され、国際トイレシンポジウム'96で「グッド・トイレ10」に選出され、今では進修館とともに宮代町の名所となっています。内部はまるでギャラリーのようです。



遊ぶ

7 ぐるる宮代(総合運動公園)

1日いても遊びきれない、スポーツレクリエーションの拠点。体育館・屋内プール・トレーニングルームの他、野球場などの屋外施設や夜間利用可能なテニスコートも完備しています。

【開館】9:00~21:00
(日曜・祝日は4月~10月 9:00~18:00、11月~3月 9:00~17:00)
【休館】月曜日(祝日の場合は開館)・祝日直後の平日・年末年始
【TEL】0480-32-1543

8 ふれ愛センター



【開館】9:30~16:30
【休館】月曜日(祝日の場合は開館)・祝日直後の平日・年末年始
【TEL】0480-32-6767

老人福祉センターと児童館を併せた施設で、世代間交流の場となっています。郷土資料館と同じ「西原自然の森」にあり、敷地内には滝のある池やゲートボール場のほか、竹林の奥にはアスレチック広場もあります。



MAP E-3

歴史

11 郷土資料館

宮代町の資料を展示した常設展のほか、特別展、企画展、講座、体験学習教室などを行っています。敷地内には町指定文化財の旧加藤家住宅をはじめ、旧斎藤家住宅、旧進修館などのほか、縄文時代の復元住居などもあります。



【開館】9:30~16:30
【休館】月曜日(祝日の場合は開館)・祝日直後の平日・年末年始・館内整理日
【入館料】無料
【TEL】0480-34-8882

13 西方院

西方院は新義真言宗智山派の寺で岩舟山と号します。平安時代の真仁元年(1017)の創立と伝えられる古刹。奇木造りの十一面観音像は室町時代の作と推定され、高さ87.5cm、幅24cm、奥行13.5cm。一部に補修の跡が見られるが、全体に堂々とした古い様相を見せています。秘仏であり25年に一度御開帳されています。また、当寺には坐高17cmほどの小さな円空仏もあります。



室町時代に建立されたと伝えられている宝生院。室町時代の応永21年(1414)の銘がある鯛口(鈴と同様の鳴り物で、参拝者が神仏に來訪を告げるもの)があります。本堂の前には目通り5.5mを測る町指定文化財の大イチョウがあり、樹齢400~500年と推定されています。

15 宝生院

12 西光院



新義真言宗智山派の寺で、奈良時代の僧行基の草創と伝えられる古刹であり、阿弥陀如来および観音、勢至菩薩の両脇侍からなる三尊像は、平安時代の安永2年(1176)の銘が記されています。阿弥陀如来像は像高91.5cmの坐像、両脇侍は立像で、像高104cmを測り、檜を用いた割刳(わりはき)造りの像です。大正3年8月に国の重要文化財に指定されています。

14 真蔵院



新義真言宗智山派の寺で医王山大福寺と号する真蔵院は、仁治年中(1240~43)の草創と伝えられる「身代り薬師」という薬師如来を祀ったお堂があります。仁王門は町内唯一のもので江戸時代中頃の建造と推定されています。



16 姫宮神社



百間村の鎮守であったことから、昭和30年の須賀村との合併の際、姫宮の「宮」をとり現町名の一部となりました。本殿は江戸時代の正徳5年(1715)に建立、拝殿の海老虹梁には文久3年(1863)とあり、拝殿には多数の絵馬が奉納され、当時の願いや信仰の様子が伺えます。

18 身代神社



須賀村の鎮守であったことから、昭和30年の百間村との合併の際、身代の「代」をとり現町名の一部となりました。祭神は素戔鳴尊を主神とし、他16柱の神々を合わせて祀っています。再興は天和2年(1682)。境内には江戸時代の庚申塔50基余りがあります。拝殿に向かって左側にある池には、「おひけ姫伝説」が伝わっています。

20 和戸教会

明治11年(1878)10月26日、県内の最初のキリスト教会として産声をあげました。明治5年、和戸村の小島九右衛門は横浜に出向き、翌年には同村の木工小菅幸之助も横浜に出かけました。明治7年、小島は病にかり医師ヘボン博士の診療を受けたのを契機として、同3年宣教師ゼームス・バラより洗礼を受け、小菅も翌年授洗し、その後、両名とも帰郷し小島の自邸に教会を設立しました。なお、医師ヘボンは、ヘボン式ローマ字で著名な人物です。

17 五社神社



かつて百間東村の鎮守で、熊野三山、白山、山王の五社を1棟等間隔に合わせた祀ったところから五社神社と称されています。祭神は天忍穗耳命他7柱で、文禄・慶長の頃に建てられたものと推定されています。県指定文化財。

19 鷲宮神社



東条原鷲宮神社には江戸時代の延享2年(1745)、約270年ほど前から伝わる獅子舞があります。男獅子、女獅子、中獅子の3頭の獅子を中心に、ヒョットコ3人などが笛や太鼓に合わせて舞う舞は、花、弓など8通りからなる優雅なものです。



みやしろ

【開園】3月~5月、9月~11月 8:30~17:00
6月~8月 8:30~18:00
12月~2月 8:30~16:00
【休園】年末年始
【TEL】0480-37-1982

9 はらっパーク宮代

大人から子どもまでサッカーやグラウンドゴルフそしてアーチェリーなどの、のびのびと楽しめる多目的広場。家族や仲間たちとバーベキューを楽しんだり、子どもが自由に遊びまわられる小広場。また、公園内にはグラウンドゴルフの常設コースやハンモックの貸出なども行っていますので、1人でも楽しむことができます。

10 東武動物公園

動物園・遊園地、夏はプールもあるハイブリッドレジャーランド。希少なホワイトタイガーをはじめとした、約120種1200頭の動物達と、遊園地では、ジェットコースター「カワセミ」など、30種類以上の乗り物を楽しむことができます。

【開園】9:30~17:30 ※季節により異なります。
【休園】6月の月曜、12月~2月:月・火曜、大晦日および元旦
当日が休日の場合変更がありますのでお問い合わせください。
【入園料】大人1,500円 小人(3歳~小学生)700円
シニア(60歳以上)1,000円
【TEL】0480-93-1200

